

茅ヶ崎市バリアフリー基本構想推進協議会市民部会との意見交換会 対応方針

■実施概要

対象施設	(仮称) 茅ヶ崎市保健所・保健センター
開催目的	(仮称) 茅ヶ崎市保健所・保健センター設計状況を伝え、バリアフリーに関する意見交換を実施するため
日時	令和6年1月29日(月) 14:00~14:40
会場	茅ヶ崎市役所分庁舎 5階会議室AB
方法	①意見交換のみ / ②現地確認 + 意見交換 <プログラム> ・概要説明 ・意見交換
参加者	計16名 茅ヶ崎手をつなぐ育成会、茅ヶ崎市視覚障がい者福祉協会、茅ヶ崎市老人クラブ連合会、茅ヶ崎市身体障害者福祉協会、茅ヶ崎市民生委員児童委員協議会、茅ヶ崎市聴覚障害者協会、茅ヶ崎市社会福祉協議会、茅ヶ崎地区まちぢから協議会、肢体不自由者父母の会、公募市民、バリアフリー関係職員

※ 対応方針凡例 ◎：短期的（今回の工事による対応） ○：代替案による対応 △：検討中（今回の工事による対応が可能か検討） □：中期的な対応を検討 ■：長期的な対応を検討 #：継続的な実施を検討（ソフト対策など） ×：対応困難（構造面or費用面orその他） *：該当しない・不明 -：対応済み
--

■市民意見への対応方針（案）

市民意見等	対応方針 (※)	対応方法（具体的な内容または対応困難な理由）
HC（ハンディキャップ）駐車場は2台以上あってもよいのでは。	○	現在の保健所HC駐車利用者の状況から、1台で問題ないと考えております。
一般車と兼用でもよいので、西側エントランス付近にもHC駐車場があるとよい。	○	みんなのバリアフリー街づくり条例の整備基準を満たすHC駐車場として整備することは、車室奥寸法の観点から難しいですが、兼用で利用できるスペースとして検討します。
西側駐車場で軒下の駐車マスはあるか。建物近くの駐車マスを工夫できないか。	○	西側駐車場は全て屋根なしで計画していますが、軒下で乗降が出来るようなスペースは確保します。
みんなのトイレに大人用の介助ベッドがあるとよい。	◎	みんなのトイレは各階ベビーシートを計画していますが、みんなのトイレのうち1箇所は折りたたみ式の大人用介助ベッドを設置します。
授乳室は計画されているか。	◎	2F受付の近くに計画しています。
健診の待合スペースに幼児が匍匐（ほふく）できるスペースはあるか。	◎	診察前の計測室は幼児の匍匐（ほふく）を想定して、柔らかく、拭取りのしやすい床仕上げとする予定です。
視覚障がい者が一人でもトイレができるようトイレの中の様子がわかる工夫ができないか。視覚障がい者でもトイレペースまでアクセスしやすいように、触地図もしくは誘導ブロックを計画してほしい。	◎	トイレ入口に触地図を計画します。
トイレの流し方について、視覚障がいに配慮し、自動で蓋が開閉して自動洗浄機能がある便器としてほしい。自動洗浄機能が難しい場合は、トイレットペーパー上部にボタンを設置することとして統一してほしい。	△	いただいたご意見を参考に、流し方の方針を検討します。
浸水の恐れがある敷地を選定した理由は。	◎	市有地の中でアクセスのしやすさ等から敷地を選定しました。浸水対策としては、入口に止水板を設置した上で、主機能や設備機器を2階以上に計画しています。これにより、浸水災害時にも業務を継続できるようにします。
こどもセンターを4階にした理由は。	◎	所管課と調整しており、配慮の必要なお子様に対する相談を行ったりするため、利用者の多い2階健診ゾーンや3階事務室とはゾーンを分けて計画しました。
自転車と歩行者のアクセスを分けているが、サインだけでは入り混じることが想定されるので、舗装を切り替えてほしい。	△	今後の設計の中で検討します。
デジタルサイネージのようなものは設置予定か。	◎	屋外と屋内に設置する予定です。